

作品名 「星を嫌う」

私は夜が嫌いだ

眠りを妨げる騒がしい虫の声も

私を解放してくれない暑苦しさも

憂鬱な明日みたいに真っ黒な世界も

私は星が嫌いだ

自分勝手に輝いて

地の底の私に

劣等感を植え付けてくるようで

神にでもなったつもりで

願いを叶えてやるなんて

上から目線で言っているようで

「○○できますように」なんて

まあくだらない

何を願おうと

何を想おうと

実際にそれをやるかどうかは

明日の私次第なのに

その程度もできないの？

なんて星が嘲笑っているようだ

明日の私も

また明日の夜に

失望されるだけなのか

そんなの、まっぴら御免だ

ああ、

やっぱり私は

夜が嫌いである